

電子決済等代行業者との連携及び協働に係る方針

1. 電子決済等代行業者との連携及び協働に係る基本方針

株式会社鳥取銀行（以下、当行）は、これまでも、お客さまのニーズに迅速に対応できるよう、付加価値の高い金融サービスの提供など、地域のお客さまの発展に資する取り組みを積極的に行ってまいりました。

今後も、このような活動をさらに進展させていくために、電子決済等代行業者との連携・協働により、オープン・イノベーションの促進を図り、より最適なソリューション・高度な決済サービスを提供できる環境の実現を目指してまいります。

2. 資金移動関連のオープン API に関する体制整備の有無、理由、実施完了時期

当行は、オープン API はセキュリティ水準を確保し、利用者保護を図るためにも重要であり、加えて、電子決済等代行業者との連携及び協働を通じたオープン・イノベーションの促進を図る上でも重要なツールと認識しており、整備が必要と考えます。

当行の提供するオープン API は、インターネットバンキングを通じたサービスをご利用いただいているお客さまだけでなく、当行をご利用いただいているすべてのお客さまがオープン API を活用したサービスをご利用できるよう、今後も継続して体制を整備してまいります。

なお、具体的なサービス開始時期は未定です。決定次第、公表いたします。

3. 口座参照関連のオープン API に関する体制整備の有無、理由、実施完了時期

当行は、オープン API はセキュリティ水準を確保し、利用者保護を図るためにも重要であり、加えて、電子決済等代行業者との連携及び協働を通じたオープン・イノベーションの促進を図る上でも重要なツールと認識しており、整備が必要と考えます。

当行は、「電子決済等代行業者との連携及び協働に係る基本方針」を実現するため、口座参照関連のオープン API に関する体制整備を、平成 30 年 5 月を目途に行います。

具体的には、以下のサービスを整備予定です。

●個人のお客さま向けサービス

➢ 残高照会・入出金明細照会 : 開始時期未定

●法人のお客さま向けサービス

➢ 残高照会・入出金明細照会 : 平成 30 年 5 月目途

4. オープン API 関連システムの開発、運用等を自行で行うか、委託するかの別、及びその他のシステム構築に関する方針

当行は、オープン API 関連のシステム開発、運用等について、株式会社 NTT データへ委託します。

当行は、全国銀行協会が公表している「オープン API のあり方に関する検討会報告書－オープン・イノベーションの活性化に向けて－」、金融情報システムセンターが公表している「金融機関における FinTech に関する有識者検討会報告書」、「API 接続チェックリスト」、及び関連団体の公表する各種ガイドラインに基づきシステム構築を行います。そのため、以下の方式を採用しています。

- アーキテクチャー・スタイル : REST
- 通信プロトコル : HTTPs
- データ表現形式 : JSON
- 許可プロトコル : OAuth2.0
- バージョン管理 : セマンティック・バージョンing

なお、当行は、インターネットバンキングシステムについて、株式会社 NTT データが提供する ANSER サービスを利用しています。

5. 当行における電子決済等代行業者との連携及び協働に係る業務を行う部門の名称及び連絡先

当行における電子決済等代行業者との連携及び協働に係る業務を行う部門は、以下の通りです。

- 担当部門 : ふるさと振興本部 営業企画室
- 連絡先 : 0857-37-0245
- 受付時間 : 9:00～17:00（銀行休業日を除く）

6. その他電子決済等代行業者が該当銀行との連携を検討するに当たって参考となるべき情報

提供予定の API に関する詳細な項目設定については、当行と「オープン API に関する覚書」を締結後に開示いたします。

また、当行は、今後も継続して「電子決済等代行業者との連携及び協働に係る基本方針」を実現するための施策を検討してまいります。

平成 30 年 2 月 28 日現在